

健康経営

具体的な取組みと成果

体の健康の維持

施策管理項目	実施事項	2024年度におけるKPI		実施内容
		目標値	実績値	
健康教育 (生活習慣)の 実施	女性の健康・男性 の更年期セミナー	受講率 40.0%	受講率 4.1%	すべての社員(アルバイト及び派遣社員含む)が参加できる全社健康セミナーを開催し、個人の健康管理に関する情報提供を実施しています。2024年度は、女性の健康と男性の更年期、運動(腰痛等)及び海外渡航前の健康管理をテーマに実施中です。2023年度の「女性の健康」は、参加者63名受講率5.2%、事後アンケートの結果「満足」と「やや満足」を合わせ100.0%、「大いに勉強になった」と「勉強になった」を合わせ89.0%でした。
	肩こり・腰痛 セミナー	受講率 40.0%	受講率 3.4%	
	海外渡航前の 健康管理セミナー	受講率 40.0%	受講率 1.4%	
禁煙希望者の 支援	禁煙支援 社員喫煙率把握	禁煙成功率 50.0%	禁煙成功率 50.0%	禁煙推進策として、禁煙成功率50.0%を目標に掲げ、禁煙を希望する社員に対する支援を実施しています。2023年度は、禁煙支援対象者の禁煙成功率は50%、喫煙率は前年比0.7ポイント減の17.8%でした。
定期健康診断の 受診促進	定期健康診断	受診率 100.0%維持	受診率85.5% (2024年9月末 時点)	定期健康診断の重要性等、健康意識の醸成を図り、未受診者への受診勧奨や上司への業務調整依頼等、多面的な施策実施により、2023年度の定期健康診断受診率は99.9%でした。今後も受診率の維持を目標に取り組みます。また、定期健康診断に加え、任意に選択できるオプション検査への費用補助を実施しています。
精密検査受診の 促進	精密検査受診	受診率 30.0%	受診率31.5% (2024年9月末 時点)	定期健康診断の結果、要精密検査と判定された社員への産業医保健師によるアドバイスや医療機関紹介等、さらに精密検査費用の補助を実施し、受診率向上を図っています。2023年度の受診率は37.0%でした。
特定保健指導 参加促進 (メタボ指導)	特定保健指導	初回面談 実施率 40.0%	初回面談 実施率 45.7% (2024年6月末 時点)	定期健康診断の受診率を維持した上で、特定保健指導や運動促進施策の実施による有所見率の低減に取り組んでいます。2023年度対象者は、対面で実施中です。2022年度の最終面談終了率は、11.4%でした。
高血圧治療の 促進	高血圧者(要治療 判定)に対する 指導	指導率 100.0%	指導率 100.0% (2023年度)	定期健康診断結果において要治療判定者と判定された高血圧者に対する指導を強化しています。
フィジカル疾患に よる退職予防	退職率の把握	退職率 0.2%	退職率 0.0%	上記フィジカルヘルス施策で期待する効果の指標として、フィジカル疾患が理由での退職率を把握しています。2023年度に退職した社員はいませんでした。

健康経営

具体的な取組みと成果

心の健康の維持

施策管理項目	実施事項	2024年度におけるKPI		実施内容
		目標値	実績値	
健康教育 (心の疲労)の 実施	心の疲労予防 セミナー	受講率 40.0%	受講率 5.2%	セルフケアを目的とした若手中堅社員への研修と、ラインケアを目的とした部課長等の管理職を対象とした研修を実施し、個人及び組織の両面からの施策を充実させています。2024年度は全社員を対象とした心の疲労予防セミナーを実施中です。2023年度の「心の疲労予防」は、参加者137名受講率9.2%、事後アンケートの結果「満足」と「やや満足」を合わせ87.0%、「大いに勉強になった」と「勉強になった」を合わせ85.0%でした。
ストレスの察知	ストレスチェック 実施	受検率 85.0%以上維持	(2024年11月に 実施予定)	安全衛生課に常駐している保健師・衛生管理者等の専門スタッフに対して、社員本人及び部課長等の管理職がいつでも気軽にメンタルヘルスに関する相談を実施できる体制を整備しています。また、コンサルタントの仕事は水のプロフェッショナルとしての期待責任が大きく、メンタルへの負荷が大きいことから、ストレスチェックを重視しています。経営トップ自らがストレスチェックの重要性を周知し、労働安全衛生法の改正によって義務化される以前より、50人以下の事業所を含めた全社でストレスチェックを実施しています。また、専門スタッフが社員の勤務状況を定期的にモニタリングし、不規則な勤務がある場合には早めに声がけするなど、過剰なストレス蓄積の予防を図っています。2023年度のストレスチェック受検率は88.6%でした。
高ストレス者 フォローの促進	高ストレス者 フォロー(産業医 面談)	指導率 20.0%	(ストレスチェック 終了後に実施 予定)	保健師によるストレスチェック集団分析結果を社内にフィードバックし、職場環境整備に活用しています。高ストレス者に対しては、産業医による面談を通じたフォローを実施します。2023年度の指導率は、2.6%でした。
職場復帰支援	復職支援の 実施	実施率 100.0%維持	実施率100.0% (2024年9月末 時点)	休職する社員に対し、完治を目指し安心して治療に専念できるよう休職制度に加え、傷病休暇制度を有しています。治療期間中は、会社が保健師や主治医、外部リワーク実施機関等と連携し、定期的に本人と面談しています。復職に向けては、産業医との面談を踏まえて復帰プログラム作成実施等の復職支援を行っています。休職中は社会保険本人負担分を会社負担とする等の配慮も行っています。2023年度の実施率は100.0%でした。
メンタル疾患に よる退職予防	退職率の把握	退職率 0.2%	(実施中のため データなし)	上記メンタルヘルス施策で期待する効果の指標として、メンタル疾患が理由での退職率を把握しています。2023年度の退職率は0.5%で、前年度の0.9%より改善しました。2024年度は、若手社員のストレスを察知するため、社内保健師による面談を推進しています。

健康経営

具体的な取組みと成果

自信を持って働くパフォーマンスの維持・発揮

施策管理項目	実施事項	2024年度におけるKPI		実施内容
		目標値	実績値	
労働生産性教育 (生活管理)の 実施	生活管理セミナー	受講率 40.0%	受講率 1.8%	社員に対して自己の生活管理能力を向上させることを目的としたセミナーを実施し、私生活の質の改善を通じて業務において高いパフォーマンスを発揮することのできる素地を育みます。2024年度は、健康保険組合の管理栄養士が講師となり、全社員を対象とした「エイジフリーな食生活」セミナーを実施しました。2023年度は、健康保険組合の管理栄養士の協力を得て、全社員を対象とした食生活管理のセミナーを2回実施し、受講率は1回目2.2%、2回目3.2%でした。
睡眠時間の確保	平均睡眠時間 調査 (月1回)	回答率 85.0%	(実施中のため データなし)	睡眠時間の確保は業務のパフォーマンスに直結するため、睡眠時間に関する状況を調査を継続実施することで、社員の睡眠時間確保に対する意識を高めます(新規施策として2023年7月から開始)。2023年度の回答率は、39.0%でした。回答率向上が、今後の課題です。
プレゼンティ イズム	測定の実施 (月1回)	回答率 85.0%	(実施中のため データなし)	SPQ(Single-Item Presenteeism Question 東大1項目版)を活用してプレゼンティイズム損失割合を継続的に調査し、社員のパフォーマンスの維持・発揮に関する施策をモニターするための指標として活用します(新規施策として2023年7月から開始)。2023年度の回答率は、39.0%でした。回答率向上が、今後の課題です。
アブセンティ イズム	病気による欠勤、 休職日数の把握 (年1回)	社員欠勤休職 平均日数 2日以内	(実施中のため データなし)	「労働生産性の向上」や「望まない形での離職低減」を図るための指標として活用します。2023年度の全社員平均は1.7日でした。
ワークエンゲ ージメント	アンケートによる 測定	(目標値検討 中)	(実施中のため データなし)	組織の活性化合いを継続的に測定し、「労働生産性の向上」や「メンタルヘルス疾患予防」に関する施策をモニターするための指標として活用します。2024年度から利用システムを変更したため、新たな目標値及び過年度からの時系列による変化の把握方法は検討中です。